

BUSINESS REPORT 2021



CareNet

株主通信 | 第27期 決算のご報告

2021年1月1日 ▶ 2021年12月31日

証券コード：2150

トップメッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年12月期は、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、製薬企業や医療機関のデジタルシフト・DX化が進み、当社のデジタルプラットフォーム上で提供する医薬DX事業、メディカルプラットフォーム事業が順調に推移しました。特に、主力事業である製薬会社向けデジタルサービスの受注が増加し、昨年に続き、創業来最高の売上高を達成することができました。ご支援頂いた皆様に心から感謝申し上げます。有難うございました。

配当に関しましては、経営成績と事業への投資に備えるための内部留保の充実を勧奨して決定し、期初予定1株当たり2円から、1株当たり4円増配とし6円となります。

弊社は昨年8月に新たな「中期経営ビジョン」を発表し、その中で「デジタル時代のサステナブルな健康社会づくりに邁進する」ことを新たな企業理念に掲げました。2025年に向けた医療需要の拡大、医療費抑制に伴う医療制度改革や、新型コロナ感染症拡大で進んだデジタル化・DX化の流れの中で、弊社のデジタルプラットフォームをベースに、医療従事者の皆様により質の高い医療を提供し、患者の皆様がそれを的確に効率よく受けることが出来る社会づくりに貢献するためのサービスを提供してまいります。「医療と社会」をより近づける存在として、弊社の重要性は高まっていくものと認識しております。

当社のプラットフォームである臨床医学教育メディアCareNet.comは、2021年度末で約19万人の医師が会員となり、医師会員を含めた39万人超の医療従事者に日々ご利用いただいております。今後も激変する医療環境の中、医師をはじめとする医療従事者が最善の意思決定が行えるよう、医学、医薬品に関するエビデンス、知識・経験等の情報を素早く正確に提供し、よりサステナブルな健康社会の実現に貢献してまいります。

一方、当社の主要マーケットである製薬業界も医療制度改革の影響を受け、大型薬剤の特許切れや、診療報酬・薬価改定の影響、ジェネリック医薬品の使用促進などの環境変化に直面しております。また、製薬企業が上市する新薬の中心は、これまでの生活習慣病薬からスペシャリティ医薬品に移行しております。加えて、医薬品以外の分野でもITを活用した診断革命が進んでいます。こういった業界の変化を絶好の事業機会と捉え、スペシャリティ医薬品の適正普及支援だけでなく、画期的な新薬や医療機器、データサイエンスやデジタルヘルス等を対象にした事業に経営資源を積極的に投資し、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社ケアネット 代表取締役社長

藤井 勝博

財務ハイライト

企業集団の財産及び損益の状況

(単位：千円)

	24期	25期	26期	27期
	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	(当連結会計年度) 2021年12月期
売上高	2,902,355	3,268,443	5,304,372	8,004,016
営業利益	469,310	605,801	1,510,077	2,532,400
経常利益	436,352	593,326	1,506,676	2,556,965
親会社株主に帰属する当期純利益	263,461	448,007	815,593	1,609,116
1株当たり当期純利益(円銭)	6.12	10.58	19.64	38.11
総資産	3,020,804	3,079,895	5,319,411	10,742,650
純資産	2,250,497	2,155,570	3,085,357	8,135,635
1株当たり純資産額(円銭)	52.49	51.80	74.02	183.42

注) 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割については、第24期の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。

